



プラチナ再生可能エネルギー産業イニシアティブ

フェーズ2実施方針

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク

2026年5月

フェーズ2 実施方針 3

目的 …4 | 検討事項 …5 | スケジュール …11

ご参加案内 12

フェーズ2 実施方針

以下3点を軸に、2050エネルギービジョンの実現に向けた道筋を明確化

ビジョンのブラッシュアップ

ロードマップの作成

先導プロジェクトの推進

検討事項

1. ビジョンのブラッシュアップ

2050エネルギービジョンの精緻化

- 1) 需要想定の妥当性検証
- 2) 需要、供給、需給安定化の詳細化
- 3) コンセンサス
- 4) 特定技術の検討

2. ロードマップの作成

ビジョン達成に向けた具体的な道筋の策定

3. モデルとの連携

定量的分析に基づいたビジョンの裏付け

4. 先導プロジェクトの推進

新技術の社会実装を加速させる具体的取り組み

5. 政策提言・啓発活動

1) 需要の妥当性の確認

産業

- 粗鋼生産量

フェーズ1	9,000万トン	フェーズ2
	鉄鋼連盟公表2025年実績(8,067万トン)に基づき	▶ 再精査
- 高温熱需要用の水素に係る電解水素製造電力
- 高温熱需要のエネルギー源

フェーズ1	原則水素による加熱	フェーズ2
		▶ 再精査
- 石油由来燃料・原料の代替における制約領域(代替困難分野)の特定
※プラチナ森林産業イニシアティブとの整合性を要考慮

運輸

- バス・トラックのEV化の妥当性

フェーズ1	すべてEV化	フェーズ2
		▶ 再精査

農林水産鉱建設業

- 需要の細分化とエネルギー源

フェーズ1	すべてバイオマス燃料	フェーズ2
		▶ 再精査

データセンター

- データセンターの需要量とそれを左右するネットワーク技術(IOWN等)のウォッチ

社会構造

- | | | |
|-------|----------------------|-----------------------|
| フェーズ1 | 利便性向上・DX化が人口減少の影響を相殺 | フェーズ2 |
| | | ▶ 再精査 |

2) 需要、供給、需給安定化の詳細化

- 地域別・時間別電力需要量・再エネ導入量

フェーズ1

フェーズ2

日本全体を1地域と設定 ▶ 地域別・時間別に想定

- 蓄電池導入量(系統安定化機能)

フェーズ1

フェーズ2

日本全体を1地域と設定

変動性再エネ(太陽光・風力)出力超過分は2割程度、
蓄電(揚水・蓄電池・DR・水素)により7割が有効活用 ▶ 地域別・時間別に想定

- 蓄電池と水素の役割分担(短期貯蔵 / 長期貯蔵)
- 電炉等による上げDRの地域別効果

フェーズ1

フェーズ2

エネ庁試算の再エネ発電量に基づき
2033年を対象に効果を試算

▶ 2050年を対象に効果を試算

- 送電インフラ再構築

3) コンセンサス

- **次世代への働きかけ**
大学(農学部・環境団体等)との連携による理解促進
営農型太陽光推進の観点から農業高校・大学との接点構築
- **産業界連携**
当イニシアティブ参加企業・団体(社内研修等)との連携
当会人財育成事業(構想スクール・未来人財育成塾等)との連携



4) 特定技術の検討

水電解・燃料電池:水素製造・利用・貯蔵
(東京大学先端科学技術研究センター・杉山教授と連携)

ロードマップの主要素として下記を想定

- 1) 導入シナリオの策定 2040年・2050年を見据えた、再エネ技術の導入場所・時期の具体化
- 2) 需給安定化の設計 機能別の導入量、コスト、およびシナリオの構築
- 3) 電化の障壁解消 ヒートポンプ導入における課題(コスト、スペース、規制等)の類型化と解決策の検討
- 4) 技術パラメーター精査 電解水素製造電力の効率など、計算根拠となる数値の適正化
- 5) 経済性評価 再エネコスト(CAPEX/OPEX)の低減見通しと、将来の化石燃料価格の想定
- 6) 投資と経済効果の提示 再エネ・インフラ等への将来投資額と、それによる経済的リターンの明示
- 7) サプライチェーン構築 主要デバイスの国産化および買取保証制度を含むリサイクルシステムの設計
- 8) 次世代との連携 大学生等への働きかけを通じた、ビジョンの理解促進と人財育成

3.モデルとの連携

- モデル活用：UC バークレー 白石氏と連携
- 精緻化プロセス
インプットデータ(再エネ・蓄電池コスト等)の相互確認と調整
地点別・時間別データの反映(気象データ等の活用)
- 最適化：最小コストの観点から、国内水素製造と輸入キャリアのバランスを検討

4.先導プロジェクトの推進

- 営農型太陽光発電：社会実装コンソーシアムの立ち上げと実装支援
- 可逆的(リバーシブル)燃料電池「やぶさめ」：蓄電・水素製造の両機能を担う技術の実装
- 革新的軽量風力タービン：導入拡大に向けた次世代風力技術の活動支援
- 水電解・燃料電池：東大等との連携による製造・利用・貯蔵の具体化

- 提言：再エネ国産化効果の提示と具体的な事業推進に向けた方針の策定
- 普及啓発：シンポジウムの開催等を通じた2050エネルギービジョンの普及

政策提言・普及啓発の主なポイントは以下

- ◆ **再エネ国産化のメリット**：中東情勢等の地政学リスクを踏まえ定量的に提示
（例）・エネルギー自給率向上による経済効果（GDP・雇用・国富流出抑制）の試算
・化石燃料価格変動・供給制約時の影響と再エネ導入による緩和効果の比較
・自給率別シナリオ（例：30% / 50% / 70%）による影響の可視化
- ◆ **行政連携**：政府等行政機関との接点づくり・制度課題や改善に向けた意見交換、政策動向の把握

	2025年度			2026年度												2027年度	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	上期	下期
1. 活動内容																	
フェーズ1 ビジョン構築																	
フェーズ2 ビジョンのブラッシュアップ・ロードマップ・先導プロジェクト																	
営農型太陽光発電社会実装コンソーシアム																	
2. ステアリングコミッティ					●								●			●	
3. 分科会						●	●				●				●		
4. 政策提言・啓発活動		●													●	●	

2/18(水)ビジョン公表

2月:提言
3月:シンポジウム

● ご参加いただきたい企業・団体・個人

当イニシアティブで想定する事業に取り組む意向や実現に向けてご協力頂ける企業、自治体や個人のみなさま

● 参加申込

イニシアティブのメンバーは、プラチナ構想ネットワークの会員限定となります。

【会員の場合】

- [参加申込フォーム](#)にアクセスいただき、必要事項をご入力ください。
- 上記フォームにアクセスできない場合は、ホームページから参加申込書をダウンロード・ご入力のうえ、事務局(energy-form@platinum-network.jp)へご送付ください。

【非会員の場合】

事業概要や入会手続きについてご案内しますので、下記までお問合せください。

ご入会後は、上記【会員の場合】と同様にお申し込みください。

● ご入会等に関するお問合せ

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク事務局

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3 東急キャピトルタワー9階

電話 03-6858-3546 / E-mail jimuinfo@platinum-network.jp

お問合せ

